

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 9 月 17 日 (2009.9.17)

【公開番号】特開 2008-42329 (P2008-42329A)

【公開日】平成 20 年 2 月 21 日 (2008.2.21)

【年通号数】公開・登録公報 2008-007

【出願番号】特願 2006-211191 (P2006-211191)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

G 0 3 B 27/54 (2006.01)

H 0 5 B 37/02 (2006.01)

H 0 4 N 1/48 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/04 1 0 1

G 0 3 B 27/54 A

H 0 5 B 37/02 L

H 0 4 N 1/46 A

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 7 月 30 日 (2009.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原稿を照明する照明手段と、

前記照明手段により照明された原稿を画像として読み取る読取手段と、

前記照明手段による照明の色補正を行うための有色光を発光する有色光発光手段と、

前記照明手段による照明の色補正を行うために前記有色光発光手段の発光を制御する制御手段と、

を有することを特徴とする画像読取装置。

【請求項 2】

前記照明手段は、ライン状に配列された複数の白色発光素子を有し、

前記有色光発光手段は、前記各白色発光素子それぞれに対応して配置された複数の有色発光素子を有し、

前記制御手段は、前記各白色発光素子の色補正を行うために前記各有色発光素子の発光を制御することを特徴とする請求項 1 記載の画像読取装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、白色とするために不足している色成分を前記有色光発光手段に発光させることを特徴とする請求項 2 記載の画像読取装置。

【請求項 4】

基準白板を有し、

前記制御手段は、前記照明手段により前記基準白板を照明させ、前記照明手段により照明された前記基準白板を前記読取手段により読み取らせ、前記照明手段に不足している色成分を前記有色光発光手段に発光させるとともに前記照明手段による照明を行わせることを特徴とする請求項 3 記載の画像読取装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記照明手段に不足している色成分を前記有色光発光手段に発光させるとともに前記照明手段により前記基準白板を照明させ、前記照明手段及び前記有色光発光手段により照明された前記基準白板を前記読取手段により読み取らせ、前記照明手段の色補正の結果を判断することを特徴とする請求項4記載の画像読取装置。

【請求項6】

前記白色発光素子は白色LEDであり、前記有色発光素子は有色LEDであることを特徴とする請求項2記載の画像読取装置。

【請求項7】

前記有色発光素子は赤のLED及び緑のLEDであることを特徴とする請求項6記載の画像読取装置。

【請求項8】

前記有色発光素子は赤のLED、緑のLED、及び青のLEDであることを特徴とする請求項6記載の画像読取装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像読取装置

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、照明装置を備えた画像読取装置に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の目的は、色味のばらつきの少ない照明装置を備えた画像読取装置を提供することにある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するために、請求項1記載の画像読取装置は、原稿を照明する照明手段と、前記照明手段により照明された原稿を画像として読み取る読取手段と、前記照明手段による照明の色補正を行うための有色光を発光する有色光発光手段と、前記照明手段による照明の色補正を行うために前記有色光発光手段の発光を制御する制御手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】